

「防衛講演会（群馬県）」成果報告

- 1 日時 平成30年11月11日（日）1000～1330
- 2 場所 ロイヤルチェスター前橋（前橋市）
- 3 主催 （公社）自衛隊家族会
群馬県自衛隊家族会（担当）
- 4 後援 防衛省、群馬県防衛協会、群馬県隊友会、自衛隊群馬地方協力本部
- 5 講師 森山 尚直 氏

略 歴

出身 大分県日田市
防衛大学校卒
第6特科連隊長
陸上幕僚監部 防衛課長
北部方面総監部 幕僚副長
自衛隊東京地方協力本部長
陸上自衛隊幹部候補生学校長
陸上幕僚監部 防衛部長
第8師団長
防衛大学校 幹事
東部方面総監
現 小松製作所 特機事業本部顧問

- 6 演題 「日本の防衛について」

7 講演の概要

(1) 主催者挨拶

講演に先立ち、伊藤康成自衛隊家族会会長が、主催者を代表して挨拶を行い、家族会の主要事業の一つである防衛講演会の主旨等を述べるとともに、開催の準備にあたった群馬県自衛隊家族会をはじめとする関係者にお礼を述べ、併せて、参加者に対し防衛への一層の理解と家族会への協力を要望した。

(2) 森山氏による講演内容

ア 内憂外患の国内外情勢

(ア) 国外情勢

- ・ 30白書における北朝鮮、中国、ロシアの表現

- ・ 北朝鮮の非核化について
意図ではなく能力に着目して、対応の備えを行う必要あり
- (イ) 国内情勢
 - ・ 国内テロへの備え（特に東京オリンピック）
 - ・ 国内自然災害への備え
南海トラフ地震における J T F 指揮官（当時東方総監）としての認識
 - ・ 自衛隊記念日観閲式の意義
- イ 防衛計画の大綱見直しについて
 - (ア) 見直しの視点
25 大綱での取り組みの促進、宇宙・サイバー・電磁波と云った新たな領域への対応、長期にわたる今後の情勢を見据えた対応
 - (イ) 電磁スペクトラムについて
ロシアの電子戦部隊とその能力向上の背景
 - (ウ) 人的基盤の確保
現下の厳しい募集状況と将来的な少子化への対応
 - (エ) 防衛予算の確保
厳しい募集状況への対応も防衛費の増額も国家・国民の防衛意識の現れ
 - (オ) 侵略を抑止するために
最後の砦たる抑止力は、国民の防衛意思
- ウ 世論調査（30.1 内閣府「自衛隊と防衛問題」）に見る国民の防衛意識
 - (ア) 戦争を仕掛けられるまたは巻き込まれる危険性
 - (イ) 身近な人が自衛隊員に成ることの賛否
 - (ウ) 自衛隊に対する関心
 - (エ) 侵略された際の態度
- エ 「心の領域での戦い」への備え
中国の三戦、北朝鮮の核ミサイル開発、国際的なテロ、いずれも「この豊かで平和な生活を続けたい」との国民の気持ち（心の領域）への侵略。その対応の鍵は、国民一人ひとりの強い防衛意識。